

プログラム名 (40字以内)	【三重県玉城町】未来を指向する地方自治体の活動への参加		
団体名/所属	玉城町 / まちづくり推進課		
活動区分	就労体験活動、 フィールドワーク体験活動	希望する選考方法	書類審査のみ
募集人数	2人	選考対象	大学院学生を含む
活動方法	現地活動のみ		
参加者に求めるもの	特になし		
活動期間	2025/7/28(月)～8/15(金)のうち 7日間～12日間程度	主な活動予定場所	三重県玉城町
プログラム実施の目的	地方自治体の課題解決に対する取組に参加し現場を体験する。		
具体的な内容(800字程度)	「地方自治体」は、個人の暮らしの中で最も緊密な関係を持ち、少子高齢社会の進行や厳しい財政状況の中で、安全で安心な社会を構築するべく奮闘している。 三重県玉城町は伊勢神宮の存する伊勢市の隣に位置し、人口は約15,000人、高齢化率28.0%で、特徴的な産業は見られない標準的な中山間農村地域である。人口減少や少子高齢化の進展が見込まれる一方で、小規模宅地開発による流入人口の増加も期待され、民間調査の住み心地や幸福度ランキングで県内上位に位置している。このような状況の中、町では地域振興や高齢者の健康管理のために様々な取り組みを行ってきた。 1) クレジットカード利用による定期納税システムを全国初で導入…住民の利便性と納税漏れの予防 2) 東京大学開発のオンデマンドバスを全国に先駆けて導入…スマートフォンでバスを予約できるシステムを開発 3) 高齢者の外出を支援しながら見守るシステムの実用化以上の取り組みなどから、総務省の「ICTふるさと元気事業」や「ICT街づくり推進事業」の実証地域に採択される。 現在、玉城町では、デジタル田園都市国家構想交付金を活用し、移住・定住促進や関係人口の拡大に向けた事業を実施するとともに、獲得した関係人口等の受入体制や、地域のつながりの希薄化、高齢化による地域力の低下の改善に向けた「人のつながり」の強化を目指した事業にも取り組んでいる。玉城町にて、役場の財政などの現状や将来ビジョンを学び、様々な活動に参加しながら地方自治体の現状と将来像について検討する。 ●(参考)過年度の主な活動内容は日付順に下記のとおり● ①町3役(町長・副町長・教育長)からのレクチャーと意見交換 ②玉城町に関する概観を掴む玉城町の現状や工夫、将来に向けての課題などを学ぶ。 ③玉城町内の複数施設での講義、見学(企業、農園、保育所、児童館など)町内の各部門のエキスパートの方にご講義頂き、実際の施設見学も交えて理解を深める ④玉城町の課題へのアプローチを考える報告発表会 ※ 期間中に開催される町内行事等があった場合には参加		
【総額】参加するための費用	60,000円(予定)		
【内訳】参加するための費用(宿泊費)	30,000円(予定)		
【内訳】参加するための費用(交通費)	26,000円(予定)		
【内訳】参加するための費用(その他)	期間中の食事代等は参加者負担		
奨励金額(予定)	25,000円		
備考	特になし		
活動に関する関係資料のダウンロードサイト	https://kizuna.town.tamaki.mie.jp/index.html		
応募団体を紹介するウェブサイト等(団体で応募の場合)	https://kizuna.town.tamaki.mie.jp/index.html		
この企画に対する担当者(応募団体)の参加の有無	参加する		